

# 2022年10月社長会見

2022年10月12日

## 1. 営業・輸送概況

### 2. 特別な旅を創る新たな観光列車

### 3. WESTER を基軸とした MaaS の進化

詳細

## 1. 営業・輸送概況

### 【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、9月はコロナ前の2019年比で65.4%、10月は7日までで123%です。

なお、2019年は10月1日に消費税の改正がありましたので、定期券や中長距離券の先買い、またその反動影響を除いて補正すると、9月は2019年比で定期94.5%、中長距離68.2%、近距離は影響なく変わらず84.9%、収入計では77.2%となります。

10月は7日までで、同じく消費税改正による影響を除くと、2019年比で定期125.7%、中長距離73.7%、近距離は影響なく変わらず98.2%、収入計では94.0%となります。

### 運輸取扱収入（速報値）

	前年同环比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
<b>9月</b>	149.8% (65.4%) 【77.2%】	152.2% (84.9%) 【84.9%】	192.9% (64.1%) 【68.2%】	104.5% (58.1%) 【94.5%】
<b>10月(10/1~7)</b>	131.0% (123.0%) 【94.0%】	136.9% (98.2%) 【98.2%】	158.4% (77.3%) 【73.7%】	110.6% (374.8%) 【125.7%】

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

※ ( ) 内は、コロナ前の2019年同环比。【】内は、2019年10月1日の消費税増税に伴う先買い・反動影響を除いた2019年同环比。

### 【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

山陽新幹線は、9月が2019年比で67%、10月が7日までで76%。近畿圏は、9月が87%、10月が7日までで97%です。

今年の9月は、3連休が2度ありましたが、台風14号、15号と、いずれも大型台風が到来しまして、特に9月19日を中心に、当社管内では、安全のために計画運休も実施しました。

そういったことで台風の影響を受けたということですが、新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向にありまして、9月全体で見ますと、ご利用は再び回復傾向となっています。

10月に入ってから、回復トレンドは続いており、直近で先週末の3連休のご利用状況については、4年前の2018年との比較で、新幹線・特急を合わせて約88%でした。2019年は、台風19号の影響が大きくありまして、比較の対象となりませんので、2018年との比較で申し上げます。

昨日より、海外からの入国に際しての水際対策が緩和されました。これを受けまして、関西空港と京都・大阪を結ぶ特急「はるか」も、11月1日から全ての列車を運転いたします。

あわせて、「全国旅行支援」も開始されましたので、今後、多くのお客様にご旅行いただき、さらにご利用が回復していくことを期待しています。

### 新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同日比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏
<b>9月</b>	219% (67%)	241% (67%)	223% (58%)	143% (87%)
<b>10月(10/1~7)</b>	182% (76%)	201% (76%)	202% (68%)	130% (97%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績の前年同日比。

※（）内は、コロナ前の2019年同日比。

## 2. 特別な旅を創る新たな観光列車

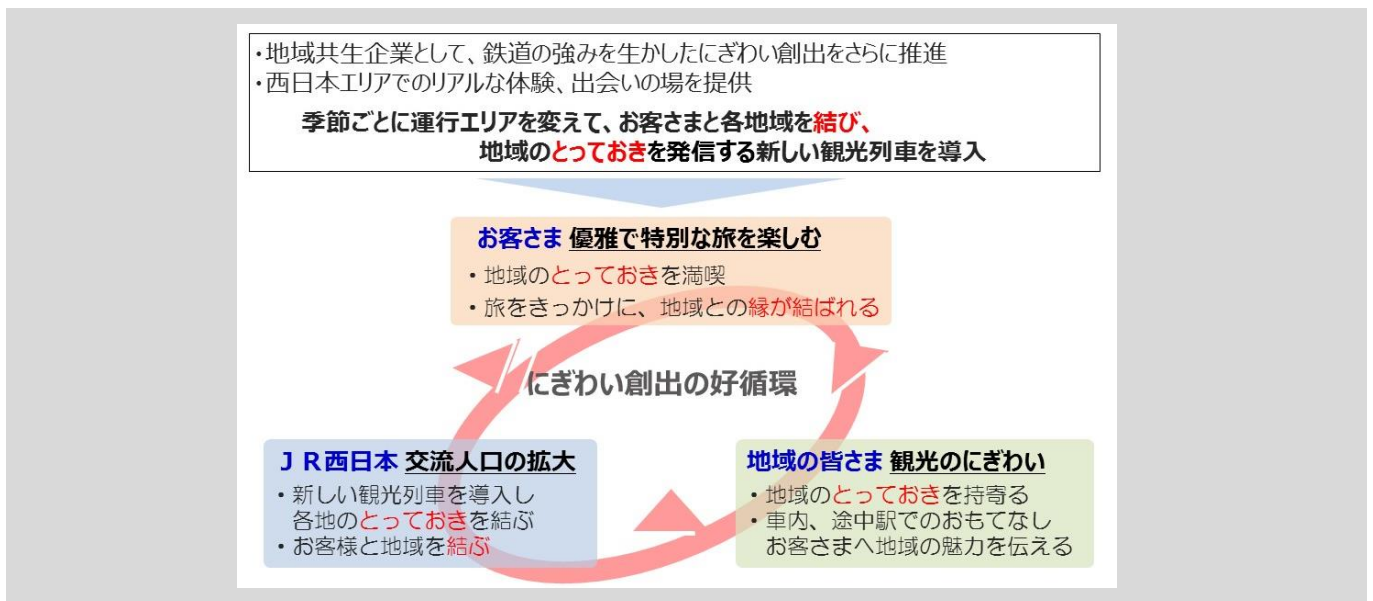
当社は、地域共生企業として、地域のにぎわい創出に向けて、沿線の皆様と連携して様々な取り組みを行っているところです。

そのなかでも、魅力的な旅を創る観光列車は、地域の皆様と連携して、リアルな体験・出会いの価値を提供できる、鉄道会社ならではのものであると考えています。

今回、「季節ごとに、運行エリアをかえて、お客様と各地域を結び、地域のとっておきを発信する」、新たな観光列車を導入することといたしました。

この観光列車では、地域の皆様に、「とっておき」なものを持ち寄っていただき、それを当社が結び、お客様に特別な旅を満喫していただきます。

この観光列車の旅をきっかけに、お客様がリピーターとなって、再びその地域を訪問していただくことで、各地でにぎわい創出の好循環を生む流れを作っていければと思っています。



### 【列車コンセプト・デザイン】

この列車のコンセプトは、「地域の華（はな）を列車に集めて、お客様と地域の縁を結ぶ列車」です。

車両は、「特急はまかぜ」として運用している「キハ189系」という車両を改造します。

車体のデザインは、袴などの紋付き染めで最高級とされる「檳榔子染め（びんろうじぞめ）」という色をベースとし、当社エリアの自然や風景、駅舎に映えるものにします。

定員は、3両編成で54名、座席は、優雅な旅を楽しんでいただけるハイグレードな仕様で、ゆったりとお過ごしいただきます。なお価格帯は、グリーン車以上の料金を予定しています。

また、車内には、地域の方々によるイベントや、お客様同士が交流できるフリースペースを設け、お客様と地域の方々との縁を結ぶことができるとしています。

このコンセプトとデザインは、観光船「SEA SPICA（シースピカ）」、長距離列車の「WEST EXPRESS 銀河」のデザインも手掛けていただいた、「株式会社イチバンセン」代表取締役の川西 康之（かわにし やすゆき）氏に、監修いただいております。

## 1. コンセプト

地域の**華**（=とっておき）を列車に集めて、お客様と地域の**縁を結ぶ**列車

## 2. デザイン

デザイナー 株式会社イチバンセン 代表取締役

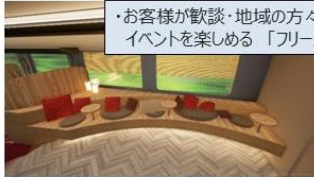
川西 康之（かわにしやすゆき）氏



・キハ189系の車両を改造  
・車体カラーは、紋付き染めで最高級とされる  
檳榔子染め（びんろうじぞめ）の色がベース  
・どこを走っても沿線や駅舎に映えるデザイン



・ゆったりとお過ごしいただける空間  
定員：54席（3両編成）  
座席：ハイグレードな仕様  
価格帯：グリーン車以上



・お客様が歓談・地域の方々による  
イベントを楽しめる「フリースペース」



※図は設計前のイメージであり、実際の車両とは異なります

## 【運行ルート】

運行開始時期は、北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業した後の2024年秋、北陸3県とJRグループが共同で開催する「北陸デスティネーションキャンペーン」に合わせてデビューします。

運行ルートの第1弾は、敦賀から若狭・京都府北部を通り、城崎温泉までを結ぶ旅を予定しています。走行線区は、小浜線、舞鶴線、京都丹後鉄道線、山陰本線となります。

北陸新幹線の敦賀開業を契機に、福井県・京都府・兵庫県へ多くのお客様にお越しいただき、開業効果を広く波及させることができると考えています。

運行開始に向けて、車内や途中駅等での、地域の皆さまと協働した「おもてなし」も具体的に検討し、沿線各地の魅力を堪能していただける準備を進めていきます。

第2弾以降の運行ルートは未定ですが、季節ごとに、西日本各地の「とっておき」を、地域の皆様と一緒に発信し、交流人口の拡大や地域振興に役立てられればと思います。

今後、列車名や運行の詳細などが決まりましたら、改めてお知らせいたします。

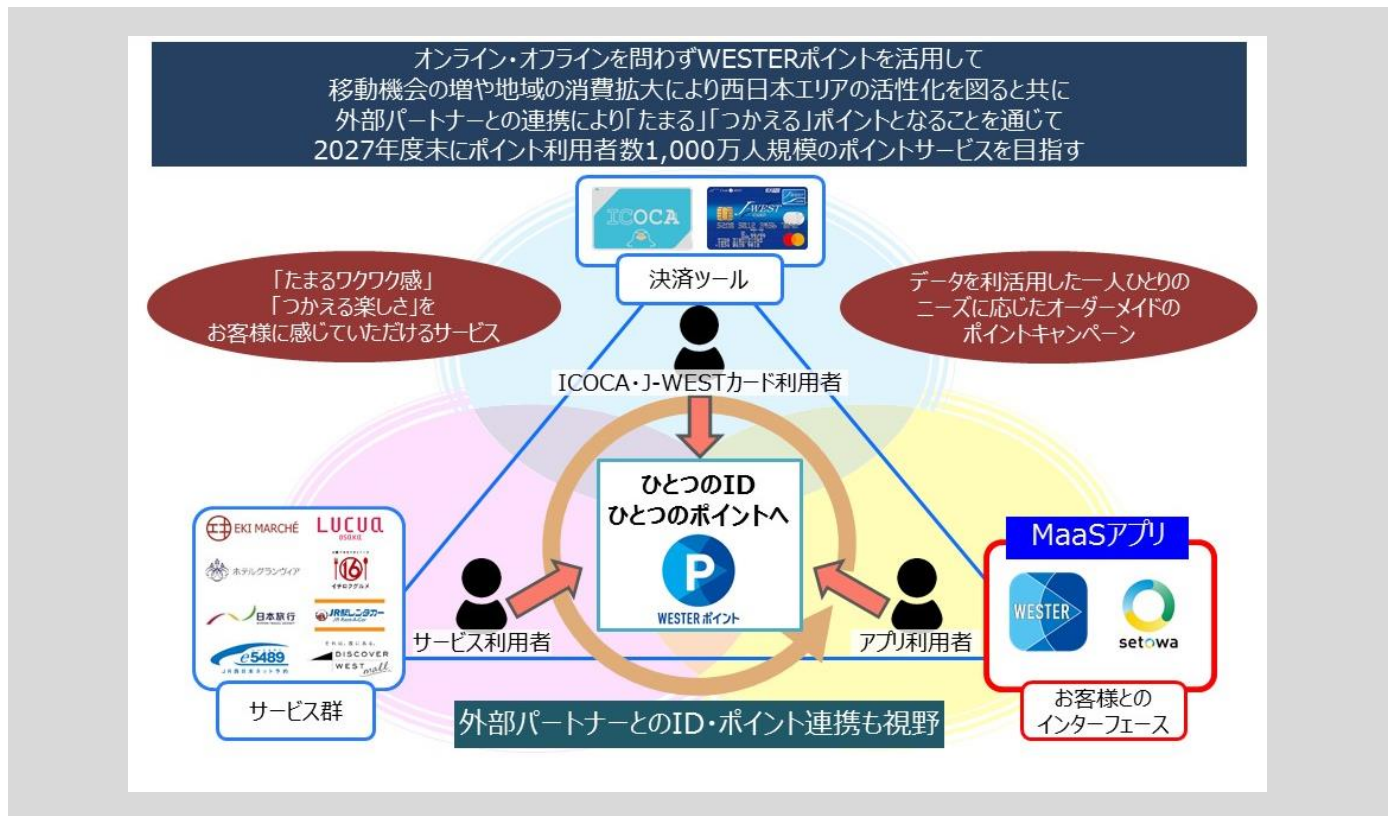




### 3. WESTER を基軸とした MaaS の進化

#### 【WESTER と WESTER ポイントを通じて目指す姿】

2023年春から、新たに「WESTER ポイント」のサービスを開始いたしますが、この「WESTER ポイント」を、より便利でお得に、楽しくご利用いただくためのインターフェースとなる、MaaS アプリ「WESTER」と「setowa」がさらに、内容が進化します。



#### 【移動生活ナビアプリ「WESTER」のさらなる進化】

「WESTER」は、日常的な移動生活に寄り添うアプリとして、他の鉄道事業者と連携した経路検索や、「マイ駅登録」による時刻表示、お得なクーポン配信、さらには、スポーツチームや店舗と連携した「デジタルスタンプラリー」など、毎日の生活でお使いいただける多機能なアプリです。

これまで、多くの皆様からご要望をいただいていたのですが、本日より、「WESTER」の「マイ駅画面」に「列車運行情報」を直接表示するよう、リニューアルしました。これにより、ご利用される駅付近の運行情報を、アプリを開いてすぐに確認いただけるようになります。

次に、当社のデータサイエンティストによる分析では、「ICOCA 定期券」をお持ちのお客様は、鉄道以外でも、当社グループのサービスをより多く利用されていることが分かってきました。いわば、「ICOCA 定期券」は、当社グループの「ファンクラブ会員証」のような役割を担っているともいえるわけです。

そこで、「ICOCA 定期券」と「WESTER」を連携させて、さらにお得にご利用いただけるテストマーケティングを11月1日より実施します。

このサービスでは、日ごろの感謝も込めまして、お持ちの「ICOCA 定期券」に、6つの特典をプラスし、その利用に応じてポイント還元などを行います。

今回の実証を通じて「ICOCA」と「WESTER」のさらなる利便性向上や、来年春に開始する「WESTER ポイント」の魅力アップに向けた知見を得たいと考えています。



「setowa」から「tabiwa」へ！北陸を対象エリアに加えて11月1日にリニューアル  
富山県、石川県、福井県、新潟県・長野県の大系線沿線エリアが新たに加わります！

新たなサービス名称



- 慣れない旅先でもスムーズに、ぐるりとめぐる（環）ことができる
- 観光客と地域をつなぐ「輪」となり、皆様の笑顔（和）をつくる
- WESTERブランドの観光サービス

このような想いを

「tabi（旅）+ wa（環・輪・和）」で表現

観光型MaaSの今後の展開



北陸でも周遊パス等の多くの商品を発売予定  
(11月中旬詳細発表)



2023年春よりtabiwaでの商品購入がWESTERポイントの対象に  
(後日詳細発表)

広がるtabiwa で安心・便利・おトクにご旅行を

【今後の MaaS における具体的な進化の形】

「WESTER」が、毎日の生活に寄り添うアプリとして、社会課題解決のデジタルツールとなることを目指していきます。

例えば、環境や健康に配慮する日々の行動や、日常の活動を支える機能やソリューションを、アジャイルに開発していきます。

また、「tabiwa」で築き上げたデジタルチケットの販売システムを、社外にもご紹介し、ご利用いただき、自治体などでのDX施策の推進にもお役に立てればと考えています。

2025年には、「WESTER」が基軸となって、「大阪・関西万博」、「関西 MaaS」、「tabiwa」がシームレスに繋がり、未来社会を支えるプラットフォームとしての役割を果たしてまいります。

